

糸魚川世界ジオパークにみられる境界多様性 Some boundaries in the Itoigawa Global Geopark, Central Japan

宮島 宏^{1*}, 竹之内 耕¹, 茨木 洋介¹

Hiroshi Miyajima^{1*}, TAKENOUCHI, Ko¹, IBARAKI, Yousuke¹

¹ フォッサマグナミュージアム

¹Fossa Magna Museum

糸魚川世界ジオパークの特徴

日本最初の世界ジオパーク認定地の一つである新潟県西部に位置する糸魚川世界ジオパーク (IGGP) の特徴として、国内だけでなく国外のジオパークと比べても多様性に富むことが挙げられる。その主なものを列記すると以下のようになる。

(1) 標高差：日本海の海岸から飛騨山脈の小蓮華山まで 2766m の大きな標高差を持つ。糸魚川沖の海底の富山湾深海長谷を含めればさらに地形的な高低差は大きくなる。

(2) 地質学的境界：糸魚川・静岡構造線によって東のフォッサマグナ地域と西の飛騨外縁帯に大きく二分される。

(3) 時代の差：古生代カンブリア紀（約 5 億年前）に生成したヒスイから新生代第四紀（約 3000 年前）に活動を開始した焼山火山まで 5 億年もの差を持つ。

(4) さまざまな地形：海岸平野・海食崖・砂丘・丘陵・河岸段丘・溶岩流地形・溶岩円頂丘・浸食地形（地すべり・大規模崩壊）・非対称山稜・二重山稜（線状凹地）・カール・風衝地・雪田などがある。

(5) さまざまな岩石：堆積岩・火成岩（申請岩・半深成岩・火山岩）・変成岩などさまざまな岩石が分布する。

(6) さまざまな鉱物：6 種の新鉱物，13 種の日本新産鉱物が発見されている。

(7) さまざまな化石：4 の新属，26 の新種の古生物が記載されている。

(8) 生物多様性：さまざまな標高・地質・地形を持つ地域にさまざまな生物が分布する。

今回は IGGP およびその近傍で認められる比較的明瞭な変化や差，すなわち『境界』となっている諸事象の多様性について紹介したい。

IGGP でみられる境界

言語

東日本方言系の越後方言と西日本方言系の北陸方言の境界が新潟富山県境となっている。

糸魚川市の東にある上越市では『居る』を東日本で使われる「いる」を使うが、糸魚川では富山以西と同じく「おる」を使う。一方、糸魚川では「おととい」を使うが、富山以西では「おとつい」を使う。糸魚川では北関東以北と同様に疲れたという意味で「こわい」を使うが、富山以西では「こわい」は疲れたという意味ではなく恐ろしいという意味になる。このように糸魚川で使われる言語は東西の方言が共存している。

アクセントについても同様で、西日本系のアクセントと東日本系のアクセントが共存している。

食べ物

年取り魚は大晦日の年越しの膳に付ける魚であるが、糸魚川は鮭、それ富山以西は鱒を用いる。

お雑煮の餅

糸魚川では焼いた角餅をお雑煮に入れるが、富山県黒部川以西では焼いた丸餅、福井以西では焼かない丸餅を入れる。

その他

電気の周波数

糸魚川市で使われる電気の周波数はほぼ全域で 50Hz であるが、親不知の西にある市振はそれ以西と同じ 60Hz となっている。また、糸魚川市の南の長野県でも同じく 60Hz となる。

鉄道の電気

JR 北陸本線の糸魚川・梶屋敷駅間にデッドセクションがあり、東の直江津・糸魚川駅間は直流 1500V、西の糸魚川・敦賀駅間は交流 20000V、60Hz となっている。

JR の区分

IGGP 内にある JR の駅はすべて JR 西日本の管轄であり、JR 東日本との境界は東は直江津駅、南は南小谷駅となっている。

灯油のポリタンクの色

糸魚川は赤色のポリタンクに石油を入れるが、富山県以西では青色のポリタンクを使う。

カップ麺の味付け

カップ麺は東西で異なった味付けとしているが、糸魚川の最西部の市振にある道の駅・越後市振の間では東西両方の味付けのカップ麺が売られている。

MIS32-P08

会場:コンベンションホール

時間:5月21日 18:15-19:30

境界生成機構

糸魚川およびその近傍で認められる言語や風俗習慣の『境界』の原因は、地形的要因すなわち人間の往来を制限する急峻な地形（飛騨山脈，親不知の急崖）や急流河川（姫川，黒部川）の存在が大きいと考えられる。また，糸魚川が東京から直線距離で約 220km，大阪から約 300km というように，大きくどちらかに偏っていない位置関係にあることも，東西の両方の文化や習慣が共存する原因であろう。

キーワード: 糸魚川, 境界, 言語, 風俗習慣, 生物の分布, 構造線

Keywords: Itoigawa, boundary, language, manners and customs, distribution of creatures, tectonic line